

IZUMI DATA BOOK 2025

いずみデータブック 男女をとりまく状況

和泉市



Contents

① 人口と家族	(P1)
1 少子高齢化の将来推移	
2 高齢化率の推移	
3 平均寿命と健康寿命	
4 世帯構造の推移	
5 インターネットの利用率	
② 結婚と出生	(P4)
6 婚姻率と離婚率の推移	
7 出生数と合計特殊出生率の推移	
③ 政策・方針決定	(P5)
8 議員の女性割合の推移	
9 審議会等委員の女性割合の推移	
10 公務員管理職の女性割合の推移	
11 民間企業管理職に占める女性割合の推移	
④ 教育	(P7)
12 学校種類別進学率の推移	
13 本務教員総数に占める女性の割合	
⑤ 労働	
14 男女の賃金格差	(P8)
15 育児休業の取得状況	
16 共働き等世帯数の推移	
17 女性の年齢階級別労働力率の推移	
⑥ 男女の平等感	(P10)
18 「社会全体」での男女の地位の平等感	
19 固定的な性別役割分担意識	
⑦ 女性に対する暴力	(P11)
20 配偶者間からの被害経験	
21 配偶者暴力相談支援センターの相談件数	
22 和泉市における配偶者等からの暴力に関する相談件数	
⑧ 国際比較	(P13)
23 女性の年齢階級別労働力人口比率国際比較	
24 ジェンダーギャップ指数とジェンダー不平等指数	

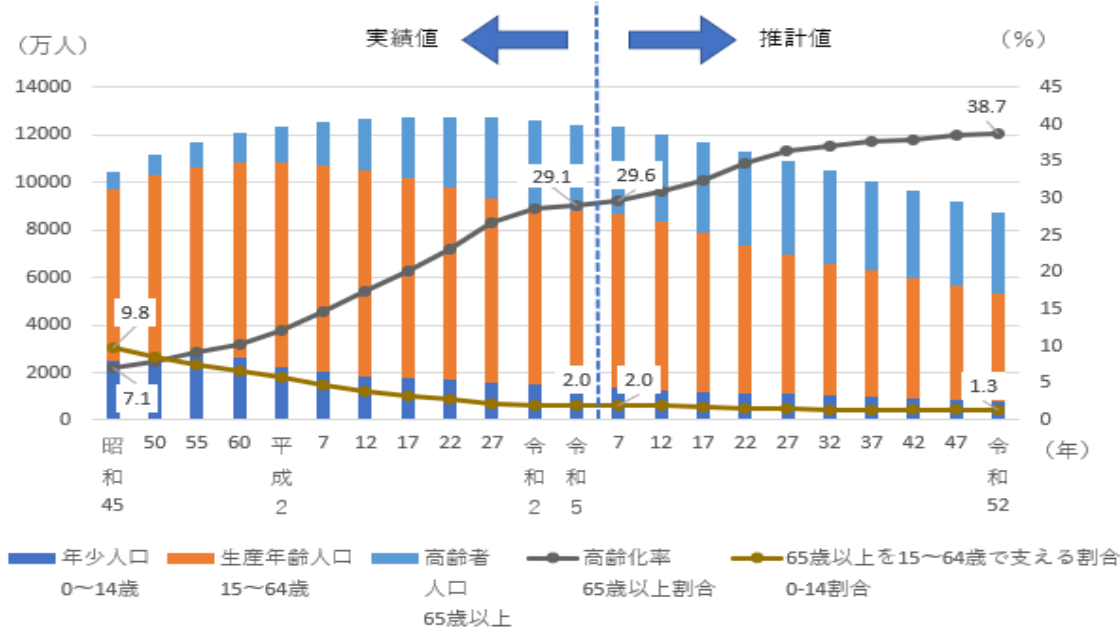
1

人口と家族

1

少子高齢化の将来推計

令和5年の高齢化率は29.1%(実績値)、令和52年には38.7%(推計値)と予想されている。

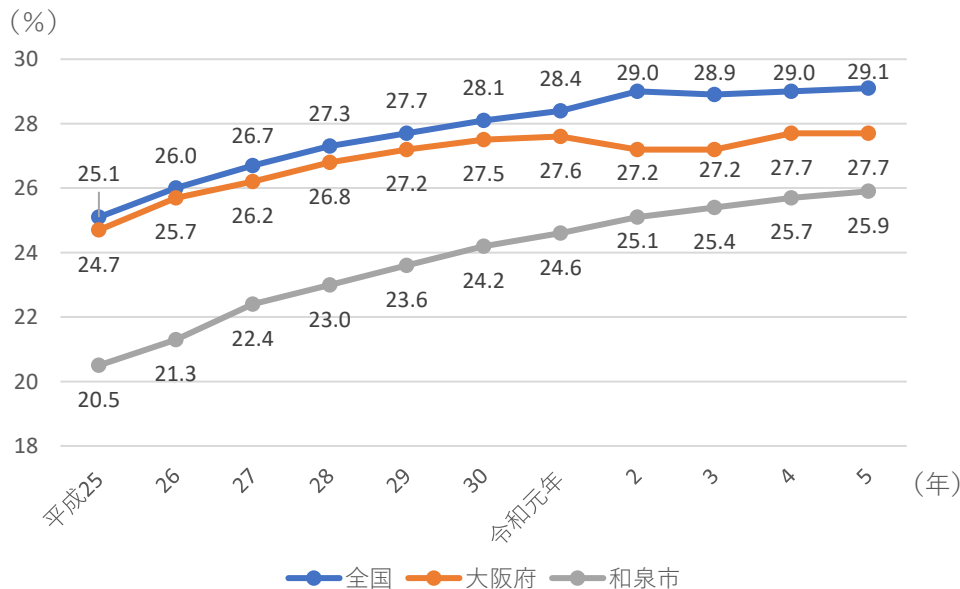


資料出所:総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

2

高齢化率の推移(国・大阪府・和泉市)

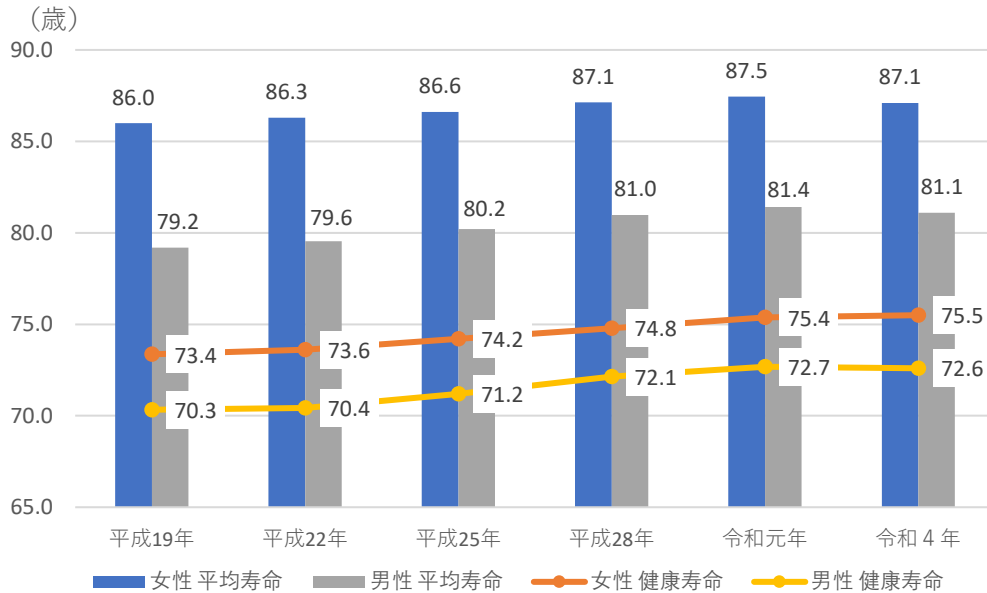
高齢化率は引き続き上昇し、和泉市は全国より3.2ポイント低く、約4人に1人が高齢者となっている。



資料出所:全国・大阪府は総務省統計局「人口推計」(10/1現在)。和泉市は住民基本台帳(10月末)

3 平均寿命と健康寿命

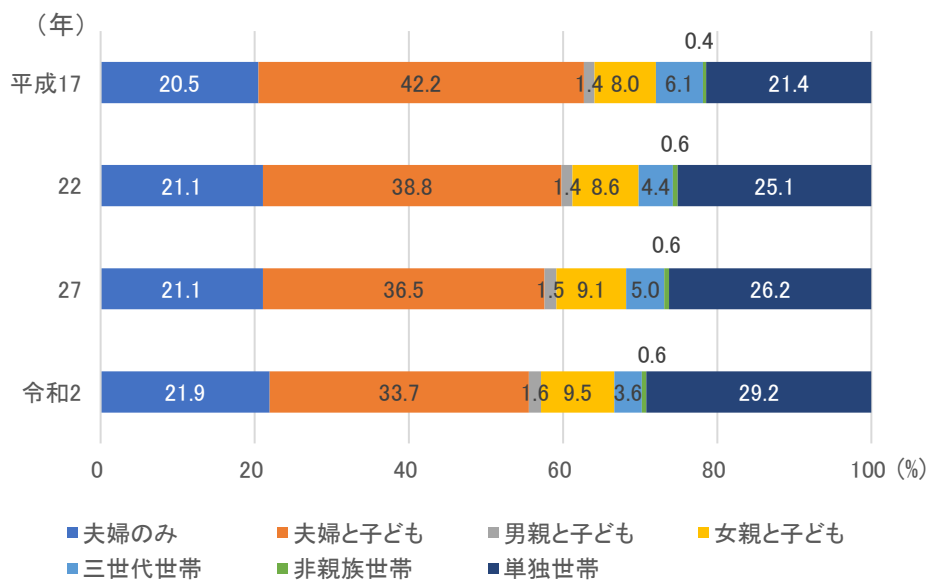
健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間)は年々延びている。



資料出所:厚生労働省 平均寿命は平成19・28・令和元・4年「簡易生命表」、平成22年は「完全生命表」、健康寿命は厚生労働科学研究において算出

4 世帯構造の推移

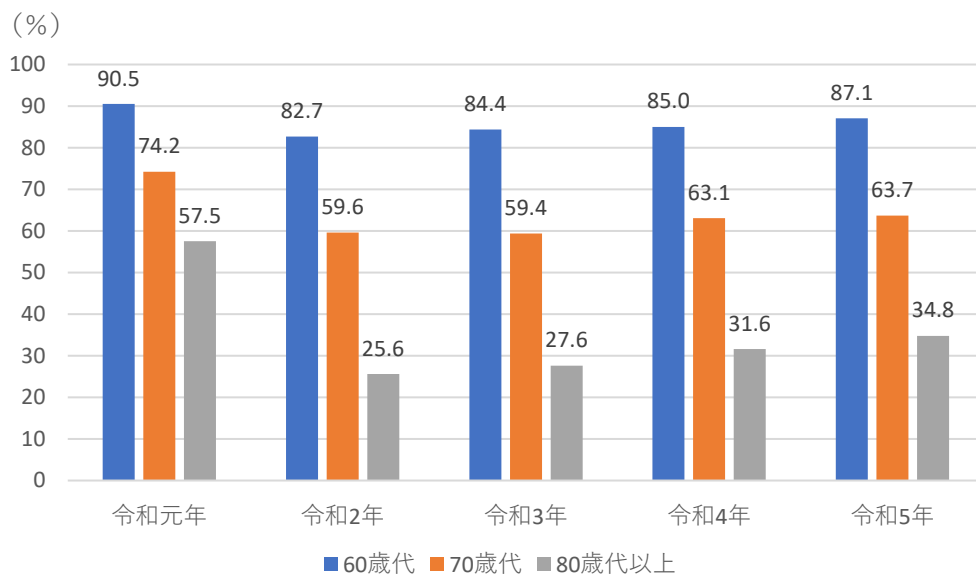
「三世代世帯」と「夫婦と子ども世帯」が減少、「単独世帯」は年々増加傾向にある。



資料出所:国勢調査

5 インターネットの利用率

令和元年に60歳以上のインターネット利用率が大きく上昇し、世代間の格差が縮小傾向にある。



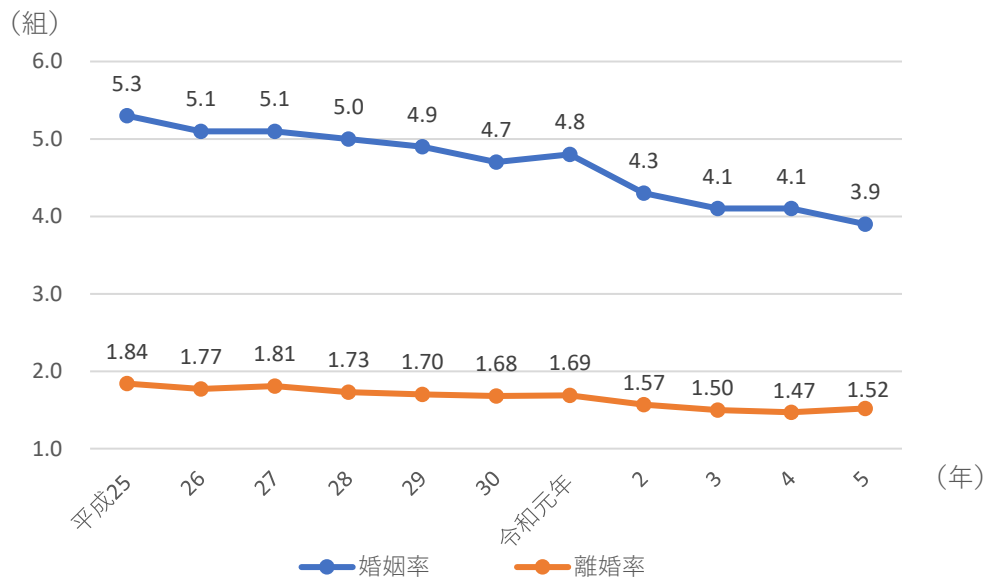
資料出所：総務省「通信利用動向調査 統計表一覧(世帯構成員表)」

2

結婚と出生

6 婚姻率と離婚率の推移(国)

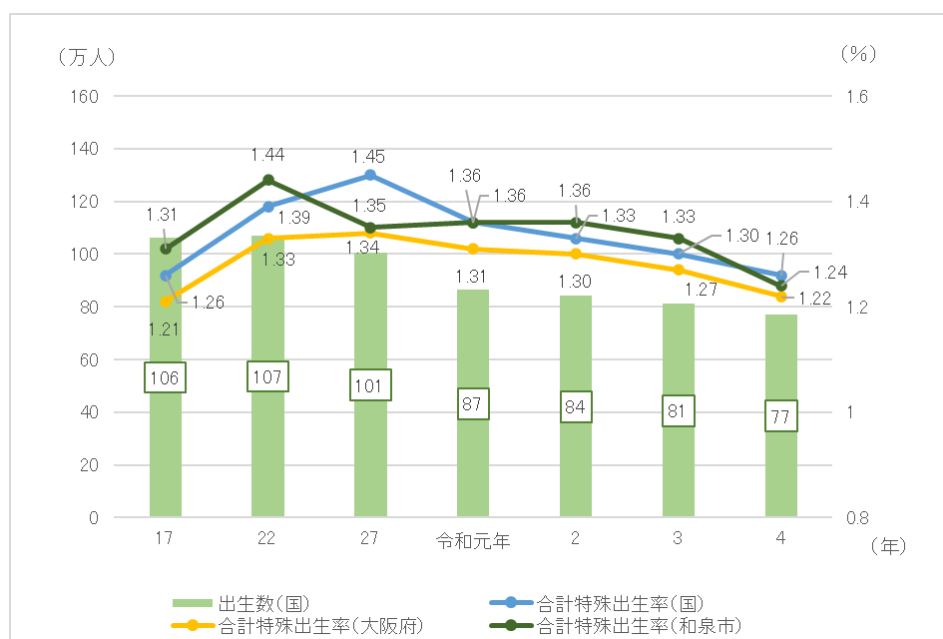
婚姻率は減少傾向にある。



資料出所:厚生労働省「人口動態統計」

7 出生数と合計特殊出生率の推移(国・大阪府・和泉市)

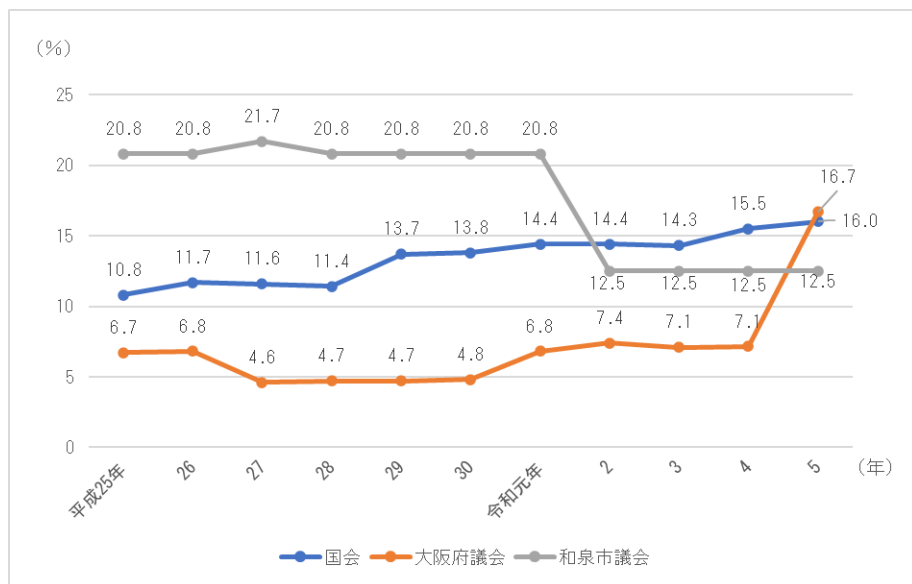
出生数は、令和3年(811,622人)より40,863人減少し、和泉市の合計特殊出生率は、令和3年の1.33%から1.24%に低下した。



資料出所:厚生労働省「人口動態統計」、和泉市人権・男女参画室調べ

8 議員の女性割合の推移(国・大阪府・和泉市)

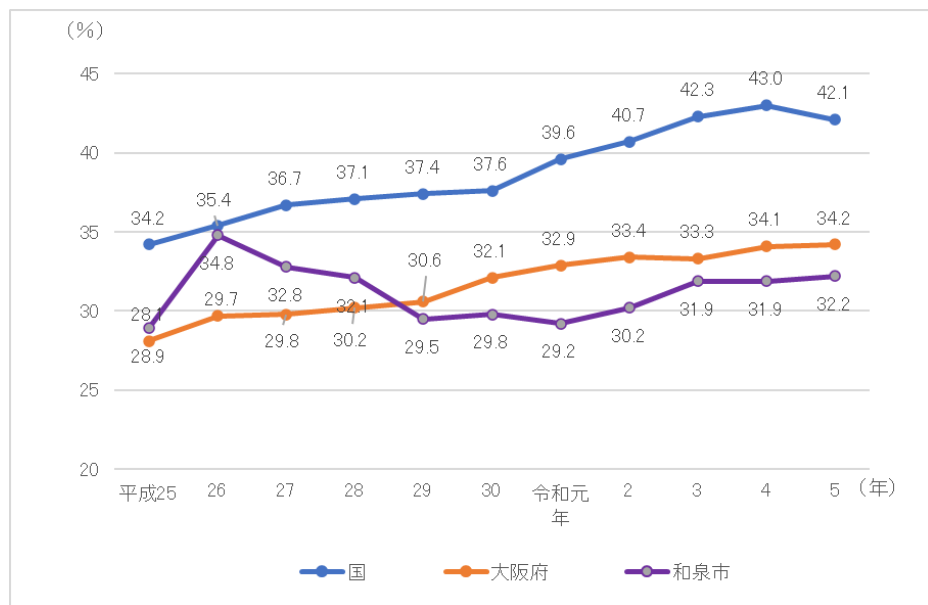
和泉市の市議会議員の女性割合は令和2年より12.5%が続いている。



資料出所:和泉市人権・男女参画室調べ

9 審議会等委員の女性割合の推移(国・大阪府・和泉市)

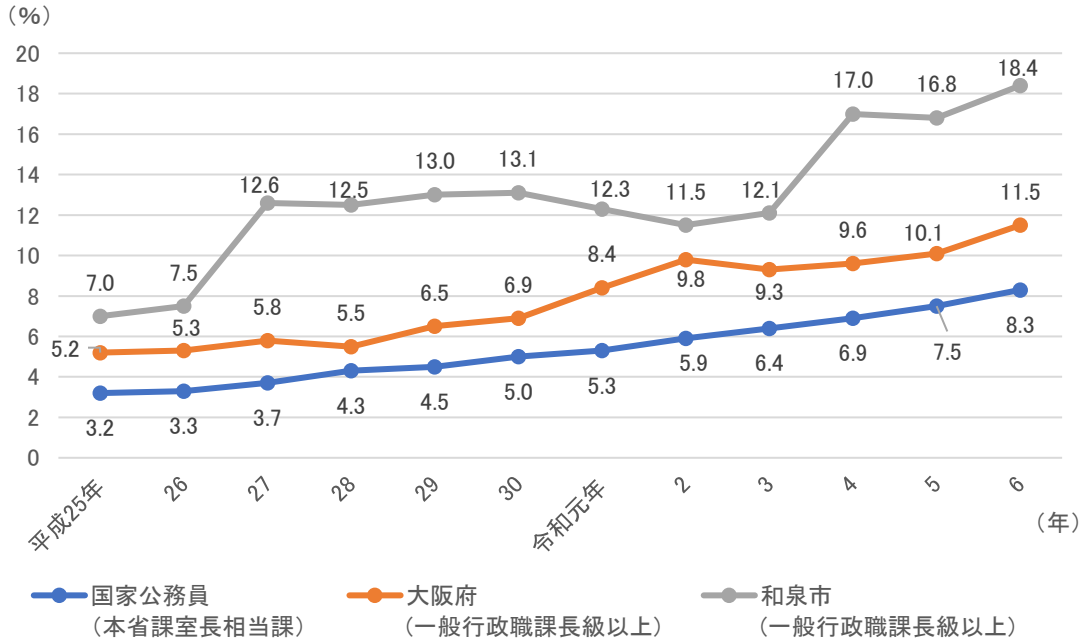
和泉市の審議会等委員の女性割合は32.2%で微増。国・大阪府よりも低い。



資料出所:内閣府「国の審議会等における女性委員の参画状況調べ」各年9月30日現在、和泉市人権・男女参画室調べ

10 公務員管理職の女性割合の推移(国・大阪府・和泉市)

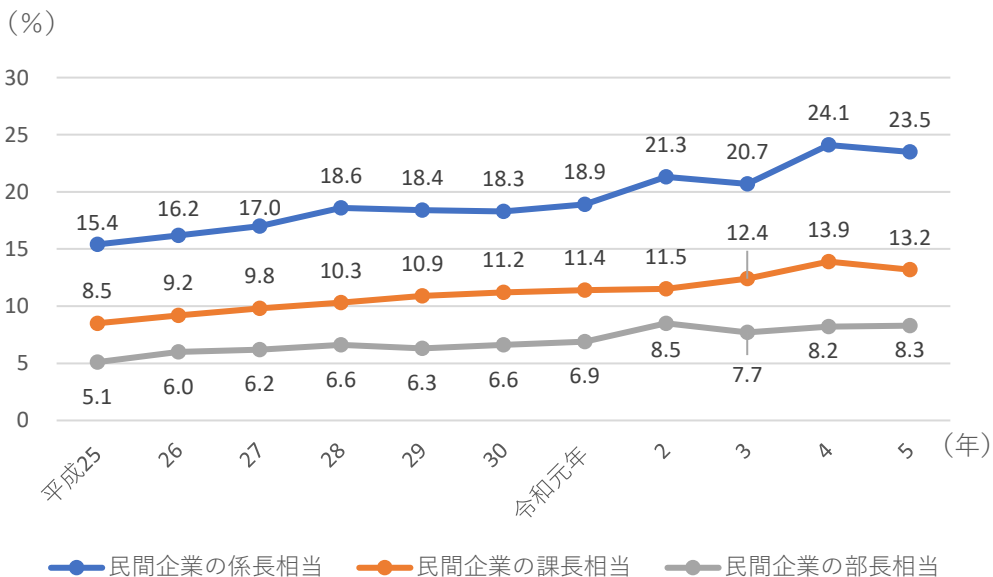
和泉市は令和6年度18.4%で増加し、国・大阪府より高い。



資料出所:和泉市人権・男女参画室調べ

11 民間企業管理職に占める女性割合の推移(常用労働者100人以上を雇用する企業)

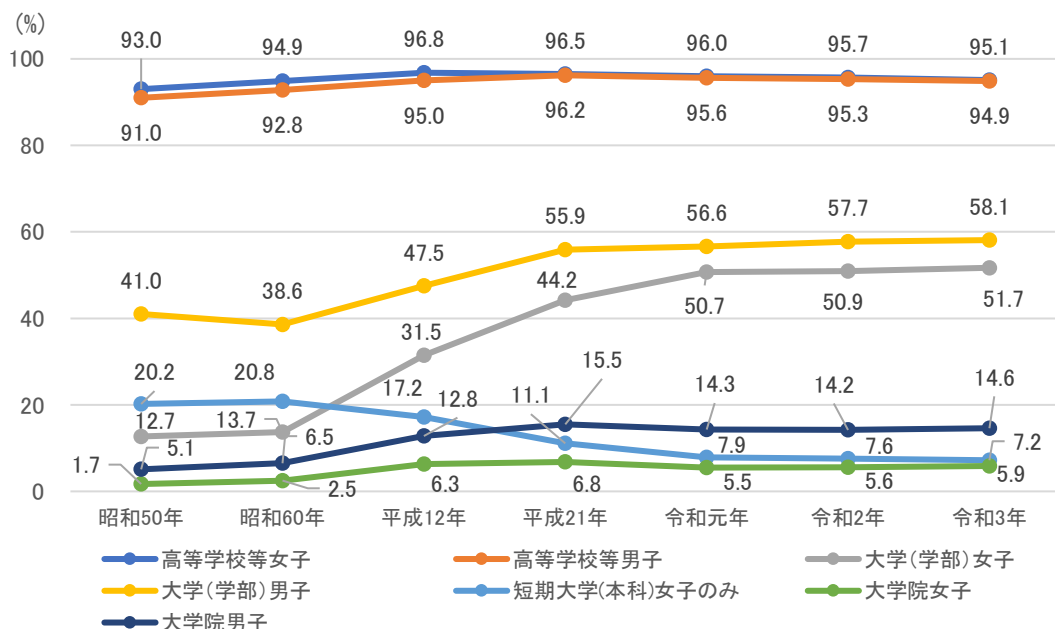
民間企業管理職に占める上位の役職の女性割合は低い。



資料出所:内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和6年版」

12 学校種類別進学率の推移

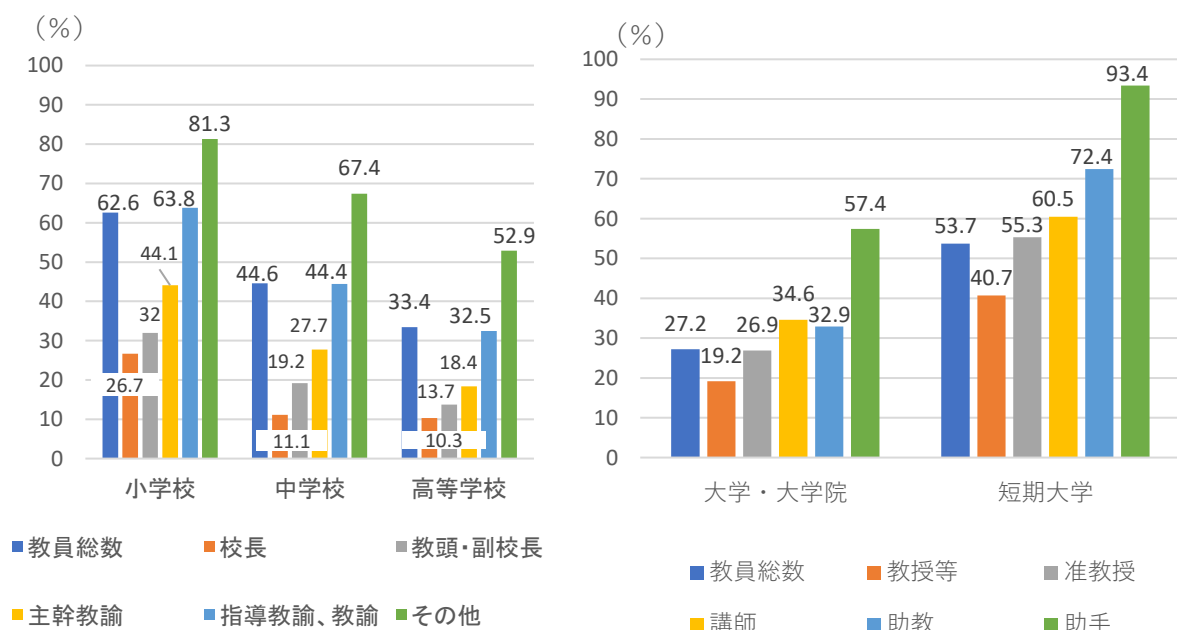
女子の大学院進学率は上昇しているが、依然として男女格差がある。



資料出所:内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和4年版」

13 本務教員総数に占める女性の割合

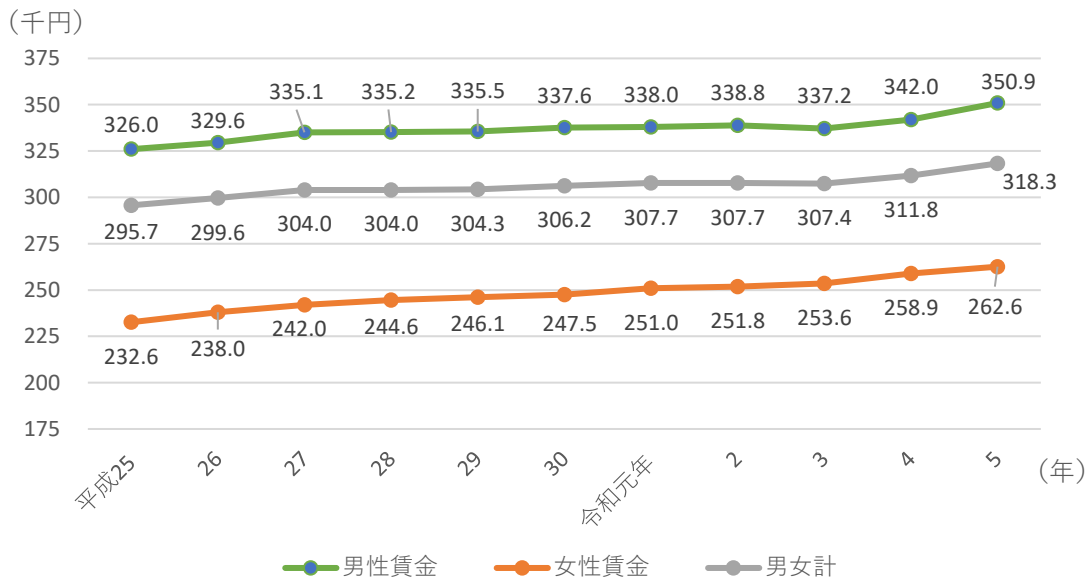
教員の女性割合は、小学校から中学校、高等学校へ上がるほど低くなり、短期大学に比べ大学(院)でも低くなる。



資料出所:内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和6年版」

14 男女の賃金格差

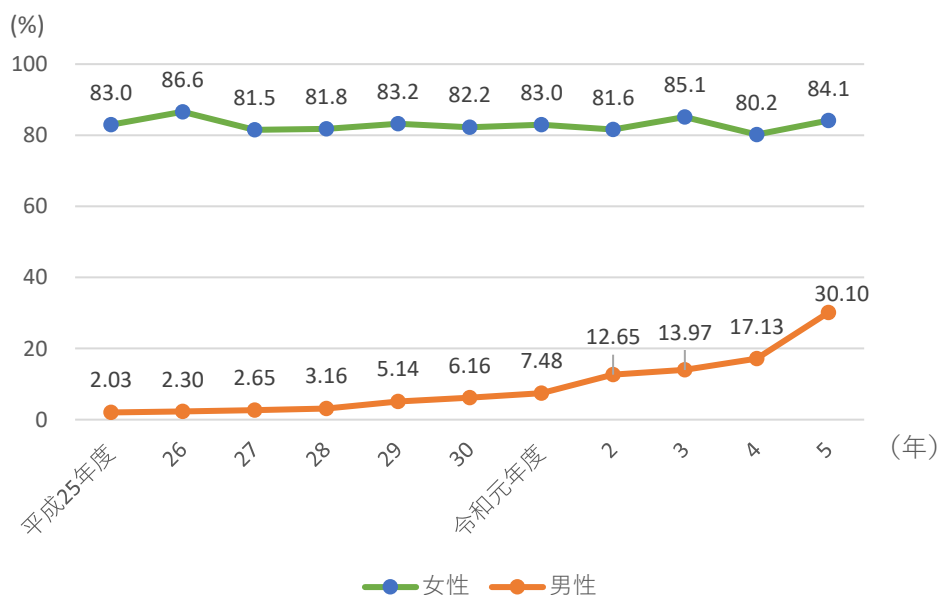
賃金は、男女計318.3千円、女性262.6千円、男性350.9千円となっている。



資料出所:厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

15 育児休業の取得状況

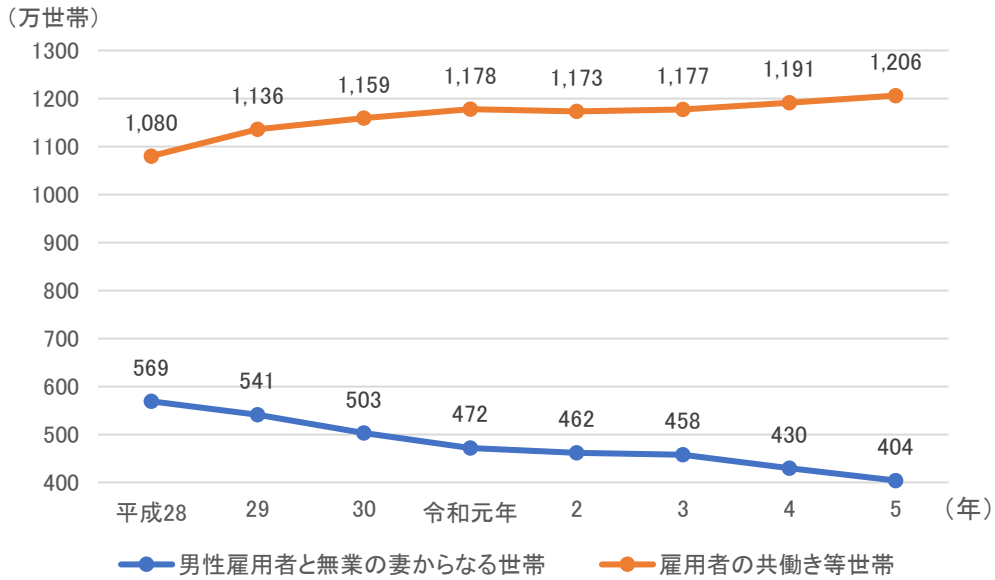
育児休業取得率のうち女性は84.1%、男性は30.1%となり、男性は令和4年より12.97ポイント上昇した。



資料出所:厚生労働省「令和5年度雇用均等基本調査」

16 共働き等世帯数の推移

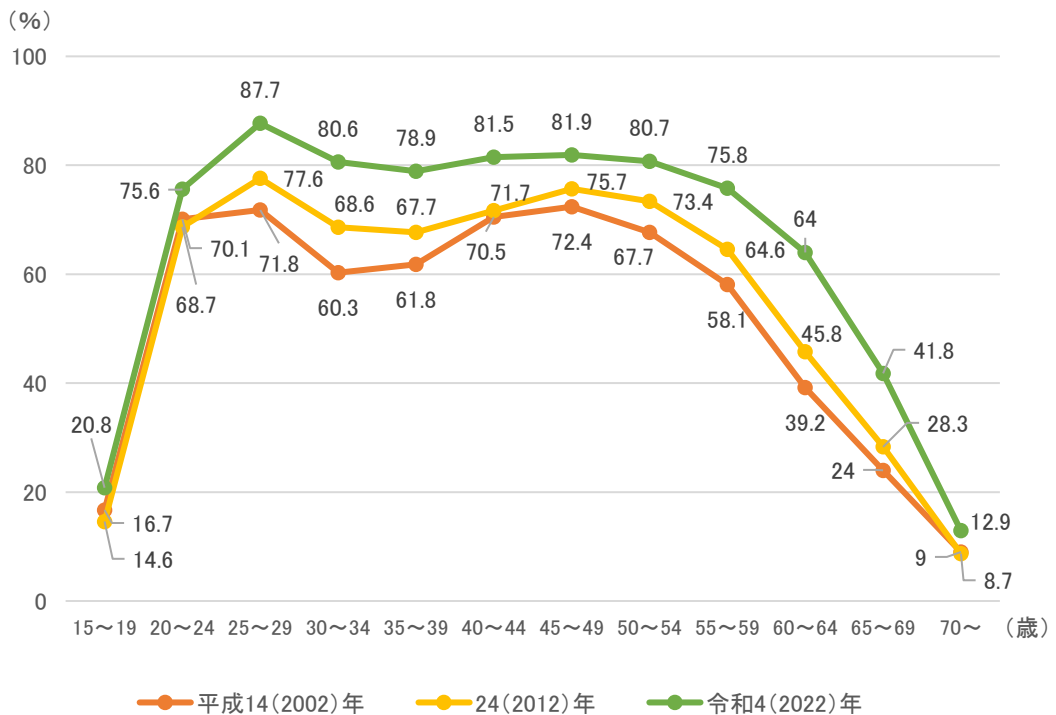
雇用者の共働き等世帯は年々増加し、令和5年は1,206万世帯となっている。



資料出所:内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和6年版」

17 女性の年齢階級別労働力率の推移

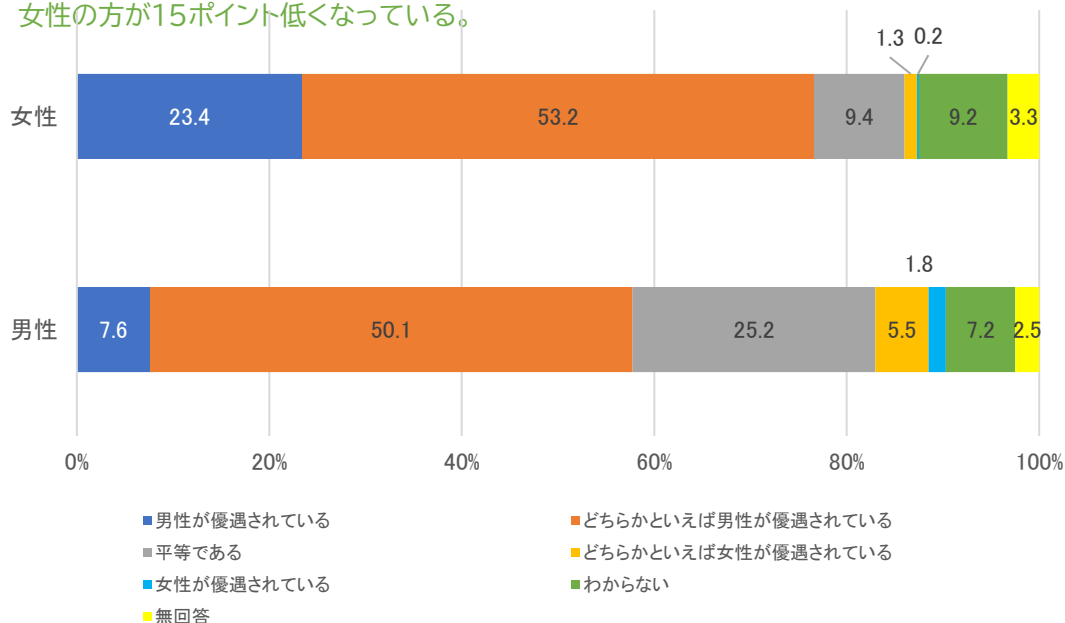
子育て期の働く女性が増加し、60歳以上の増加も目立つ。



資料出所:内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和5年版」

18 「社会全体」での男女の地位の平等感(大阪府)

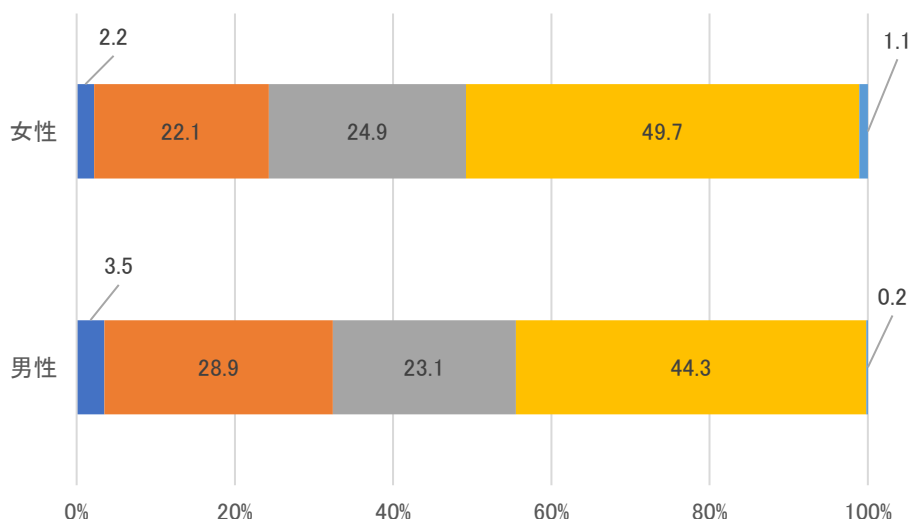
男女ともに「男性優遇」の割合が高いが、平等と回答した人の割合は男性25.2%女性9.4%と女性の方が15ポイント低くなっている。



資料出所:大阪府「令和6年度 男女共同参画社会にかかる府民意識調査」(令和6年12月)

19 固定的な性別役割分担意識(大阪府)

「男は仕事、女は家庭」という考え方に「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」の割合は、女性約74.6%、男性約67.4%となっている。



資料出所:大阪府「令和6年度 男女共同参画社会にかかる府民意識調査」(令和6年12月)

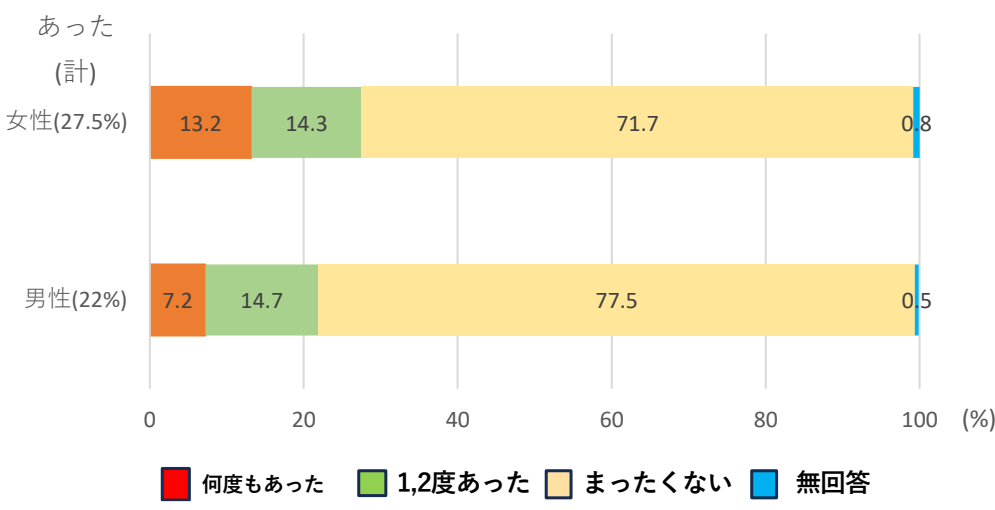
■そう思う ■どちらかといえばそう思う ■どちらかといえばそう思わない ■そう思わない ■無回答

7

女性に対する暴力

20 配偶者からの被害経験(令和5年度)

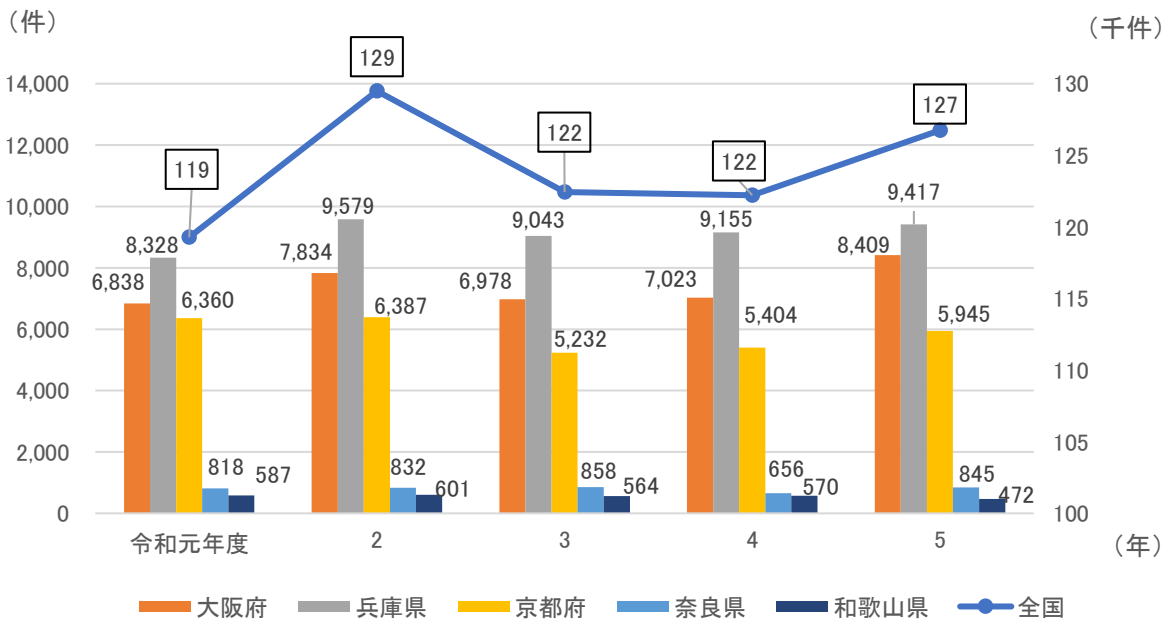
女性の約4人に1人、男性の約5人に1人は配偶者から暴力を受けたことがあり、女性の約10人に1人は何度も被害を受けている。



資料出所:内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和6年版」

21 配偶者暴力相談支援センターの相談件数(国・近畿府県)

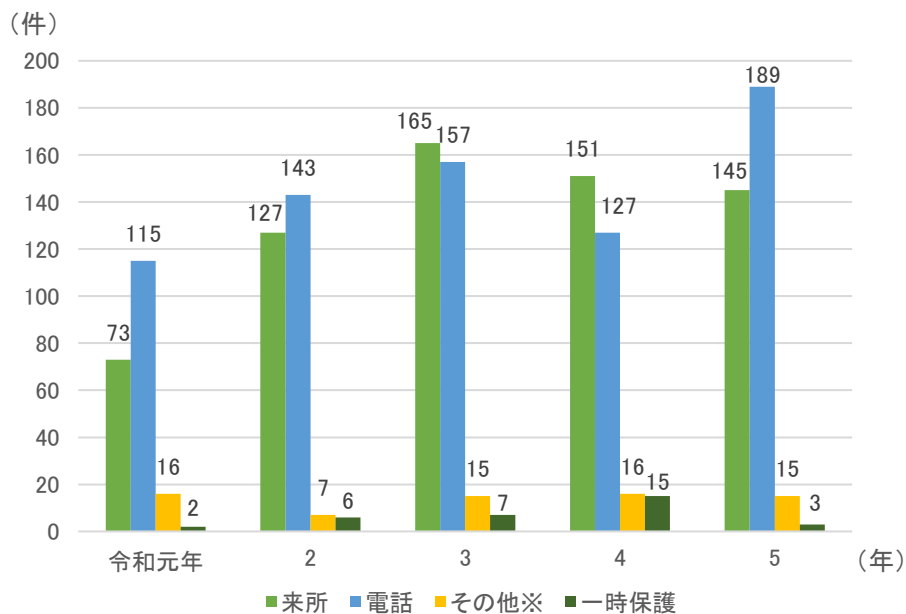
令和5年度の相談件数は126,743件で昨年度より増加した。



資料出所:内閣府男女共同参画局「配偶者からの暴力に関するデータ」

22 和泉市における配偶者等からの暴力に関する相談件数(親子間等は含まない)

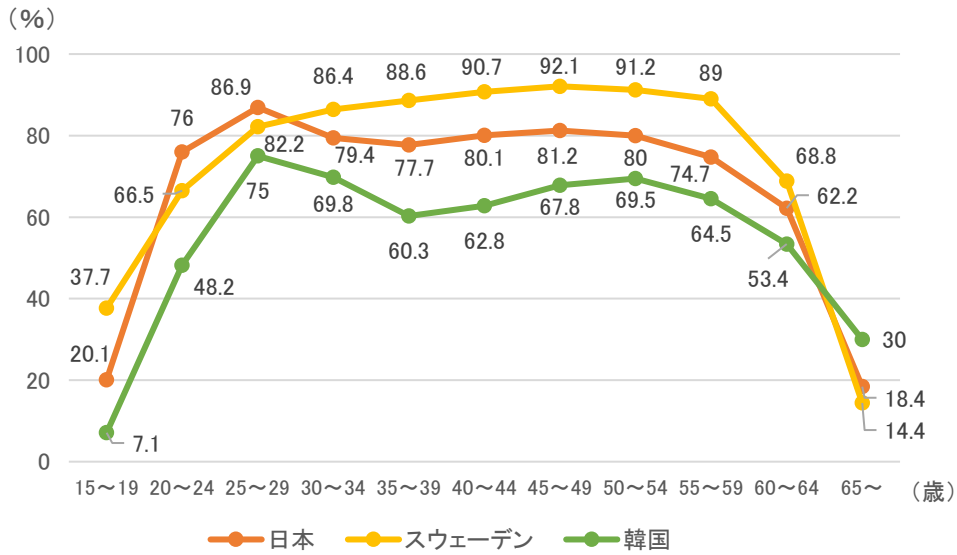
令和5年度は電話相談の件数が増加した。



資料出所:和泉市人権・男女参画室調べ

23 女性の年齢階級別労働力人口比率国際比較

我が国の女性の年齢階級別労働力人口比率のグラフ全体の形は、M字型から先進諸国で見られる台形に近づきつつある。



資料出所:内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 令和4年版」

24 ジェンダーギャップ指数とジェンダー不平等指数

日本のGGI値(ジェンダー・ギャップ指数)は146か国中118位GII値(ジェンダー不平等指数)は193か国中22位となっている。

ジェンダーギャップ指数ランキングGGI値		
順位	国名	スコア
1	アイスランド	0.94
2	フィンランド	0.88
3	ノルウェー	0.88
4	ニュージーランド	0.84
5	スウェーデン	0.82
7	ドイツ	0.81
9	アイルランド	0.8
10	スペイン	0.8
11	リトアニア	0.79
12	ベルギー	0.79
14	英国	0.79
15	デンマーク	0.79
17	ポルトガル	0.79
19	コスタリカ	0.79
20	スイス	0.79
21	チリ	0.78
22	フランス	0.78
24	オーストラリア	0.78
28	オランダ	0.78
29	エストニア	0.77
30	ラトビア	0.77
33	メキシコ	0.77
34	スロベニア	0.77
36	カナダ	0.76
43	米国	0.75
45	コロンビア	0.75
46	ルクセンブルク	0.74
49	オーストリア	0.74
51	ポーランド	0.74
56	スロバキア	0.73
73	ギリシャ	0.71
87	イタリア	0.7
91	イスラエル	0.7
94	韓国	0.7
101	ハンガリー	0.69
104	チェコ	0.68
118	日本	0.66
127	トルコ	0.65

ジェンダー不平等指数GII値		
順位	国名	GII値
1	デンマーク	0.01
2	ノルウェー	0.01
3	スイス	0.02
4	スウェーデン	0.02
5	オランダ	0.03
6	フィンランド	0.03
9	アイスランド	0.04
10	ルクセンブルク	0.04
11	ベルギー	0.04
12	オーストリア	0.05
13	スロベニア	0.05
14	イタリア	0.06
15	スペイン	0.06
16	韓国	0.06
17	オーストラリア	0.06
18	カナダ	0.07
19	ドイツ	0.07
20	アイルランド	0.07
21	ポルトガル	0.08
22	日本	0.08
23	ニュージーランド	0.08
24	フランス	0.08
26	イスラエル	0.09
27	エストニア	0.09
28	英国	0.09
30	リトアニア	0.10
31	ポーランド	0.11
32	チェコ	0.11
37	ギリシャ	0.12
39	ラトビア	0.14
44	米国	0.18
46	スロバキア	0.18
49	チリ	0.19
56	ハンガリー	0.23
58	コスタリカ	0.23
63	トルコ	0.26
84	メキシコ	0.35
95	コロンビア	0.39

世界経済フォーラム
「The Global Gender Gap Report 2024」

国連開発計画(UNDP)「人間開発報告書2023/24」

いずみデータブック 男女をとりまく状況

令和7年(2025年)3月発行
和泉市総務部人権・男女参画室

〒594-8501
和泉市府中町二丁目7番5号 TEL:0725-99-8116(直通)

(事業受託者:一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団)